

AAAL（オートアフターマーケット活性化連合）

インド 車業界事情・視察ツアー

AAAL 会員 20 名の参加者で 2010 年 9 月 12 日（日）～18（土）に実施

AAAL 事務局

【概要】

中国に次ぐ自動車マーケット潜在需要の国・インド。27 万円の低価格車「NANO」を製造する「TATA MOTORS」等自動車産業の話題が尽きない未知の国インドに対して、2010 年 9 月 12 日（日）から 9 月 18 日（土）までの 7 日間、インドにおける車業界事情調査と視察ツアーが開催され、AAAL（オートアフターマーケット活性化連合）に加盟する各団体の企業から 20 名が参加しました。

【9 月 13 日（月）デリー市（DELHI）レポート】

1. SANDHAR Technologies(サンダハーテクノロジー社)視察

インドで生産するほとんどの自動車メーカーに OEM 供給する部品メーカーです。主に車の鍵、ドアハンドル、バックミラーを生産しています。我々が訪問した工場はインドのホンダバイクを生産するヒーローホンダ社向けの鍵（ロック）を生産していました。全て工員の手作業の生産です、従って現場責任者は社員の時間管理、健康管理を主にシフトを組んでいます。工場内は 5S が徹底されどこも整理・整頓・清掃され清潔感があります。

我々の対応をしていただいた副社長の JAYANT DAVAR 氏は ACMA インド自動車部品用品工業会の会長を務めています。



2. CARNATION (カーネーション社) 視察



マルチ・スズキ出身の KHATTAR・カッター社長の目指すものは自動車トータルサービス業なるカーネーション店舗です。店舗前はスズキを始めホンダ、TATA、ヒュンダイの中古車がずらりと並び店内のショールームにはオリジナルカスタムのホンダ・トヨタの新車が展示されており、その横にはタイヤ、オーディオを中心にシートカバー、マット、車内小物の用品コーナーが続きます。奥は大きな修理工場・板金塗装工場、が有りこのカーネーション店は車の販売・修理がメインになっておりリピート客が部品・用品を購入するという図式になっています。インド国内に 21 店舗展開しており、今後の大きな展開が期待できそうです。

3. ACMA Automotive Component Manufacturers Association of India



インド自動車部品用品工業会との交流・ミーティングを実施しました。

ご対応いただいた、ACMA 副会長の Arvind Kapur 氏より、「今年で ACMA 設立 50 周年を迎える。会員 600 社を超えインド自動車製自動車部品 8 割を生産している。最初は自動車メーカーの下請け部品メーカーから始まった小さな会社が今や世界中の自動車メーカー向けの部品メーカーとなった。今回 AAAL の自動車部品用品メーカーとのミーティングがこれから成長し続けるインド市場においてお互いの利益に繋がることになれば幸いです」というコメントをいただきました。

Murali Krishnan ムラリ氏よりインド企業との付き合い方・成功の秘訣を指導していただきました。彼はこれから成長するインド企業と日本企業との橋渡しのビジネスに力を入れていくとのことでした。

・ AAAL オートアフターマーケット活性化連合 住野公一代表コメント

日本の総アフター市場の現状説明を行い、日本の自動車業界は成熟マーケットであることの説明や、少子化による人口減少が今後の問題となっており、合わせて高齢化も進んでいることをお話ししました。また、こうした問題解決のために、2006 年 4 月 4 日 AAAL オートアフターマーケット活性化連合が設立され、このような製販一体の連合体は日本で初めてのものを説明しました。



【9月14日（火）ウツタル・プラデーシュ州パンタナガル（PANTNAGAR）レポート】

TATA MOTORS LIMITED／タタ自動車パンタナガル工場視察

ニューデリーから東へ 250km パンタナガルのタタ工場が目的地です。朝 5 時にホテルをバスで出発！道が混む前に出発すると言うのが理由です。国道 24 号線を東へ進みます。1 時間も走ると朝の通勤、通学する人達が道路の脇に出てきます。片側 2 車線あった国道も 1 車線に細くなり、人、バイク、3 輪車が道を塞ぎノロノロ走行になり、極めつけは国道なのに未舗装道路に変わります。しかも穴だらけのドロドロ土状態！前日降った雨が残っており、田んぼのドロ状態！大渋滞にはまります。途中トイレ休憩、お茶休憩も含めてパンタナガル TATA 工場へ着いたのは昼の 12 時を回っていました。延べ 7 時間強掛かった訳です。



TATA パンタナガル工場は 2007 年に出来た新しい工場で、現在 NANO、MAGIC、ACE の 3 種類の車を年 30 万台生産しています。

NANO の生産はコストダウンを図るため自動ラインでは無く、人の手に頼るラインにしてあります。現在 NANO は 200 台／日産のペースで作られており増産をするそうです。

NANO 生産ラインを塗装ラインまで見学でき、工場の規模はもとより質の高さも予想以上なのに皆びっくり！最後は NANO の試乗も出来、NANO 生産を通じ TATA 自動車全体がしっかりしたインドを代表する会社と再認識しました。工場長以下幹部スタッフの温かいもてなしに AAAL メンバーもニコニコ。幹部専用の工場内レストランでランチもご馳走になりました。

NANO ナノに試乗した感想です。きちんと走ります、ショックのストロークも有り乗り心地も問題なく良いです。イメージしていた以上に作りが良く、デザインが良い。

内装も必要最低限のもの以外は付いていません。シンプルさが逆に新鮮に見えてきます。

価格は 13 万 4000Rs ルピー = 27 万円です。今まで一番安かったのがマルチスズキのアルト（MARUTI800）で 20 万 0400Rs ルピー = 40 万円。

NANO がいかに安いかが分かります。



【9月15日（水）デリー市内（ニューデリー&オールドデリー）視察】



町の小さな部品屋、タイヤ屋、中古部品、バイク屋、自転車屋が並ぶエリアを視察しました。

日本で言うならば、古いアメ横を自動車部品・用品店にしたようなところですよ。

車、車、車の数、渋滞、クラクションの音、乗用車のシェアでは、スズキ子会社マルチ・スズキ・インディア（旧マルチ・ウドヨグ）、地場のタタ・モーター、韓国・現代自動車上位3社で占めています。

スズキが50%以上を占めており、着いた時は「面白く無いなインドの車は！」と思っていましたが、3日経ち1週間経つと旧型アルトのスクエアなデザインが新鮮に見えてくるのですね！



【9月16日（木）アグラ市（世界遺産タージ・マハール）視察】

ニューデリーから南へ 230km ニューデリー駅から汽車での移動です。自動車移動と違い時間が読め、スケジュールが組めます。2時間でアグラへ到着。インドと言ったらカレー、次にタージ・マハールですよ。16世紀に建てられたアグラにある総大理石造のお墓です。広い、でかい、美しい！なんて表現したら良いか分からないくらい素晴らしいところです。時間が止まります。



【まとめ】

- ・一言で言えないくらい 奥の深い国
- ・古さと新しさの混合
- ・貧富の差
- ・インダス文明からの5000年の歴史ある国
- ・暗さが無く明るい国

以上